



海田東小だより

令和7年度 11月号
海田町立海田東小学校

Webページ <https://www.town.kaita.lg.jp/site/kaitahigashi-elementary-school/>

学校教育目標 「考え実践する 海田東っ子」

笑顔・あいさつ・思いやり(EAO) よく学び よく遊び やさしく強く



海田東小学校公開研究会

先日、本校で10月22日(水)に「公開研究会」が行われました。小中学校の先生や教育関係者の皆様、海田町会議員の皆様、約150名が参加されました。

本校は、「主体的・協働的に学び、自分の考えを深める児童の育成」をめざしています。

令和7年度児童生徒学習意識等調査の結果では、本校は、「話し合いで互いに協力して活動している」の項目で肯定的な回答は、53.8%でした。この結果は、広島県の平均を下回るものであり、子どもたちに「相手にわかりやすく自分の考えを伝える」力をつけることが必要であると感じました。

「協働的に学ぶ」ことは、社会人として求められる能力にもつながります。「自分の考えを理解してもらえるように建設的に主張する」「自分と考え方の違う人の話も冷静にしっかり聞いて、お互いが納得できるような着地点を見出す」ことが必要です。今、対人関係づくりが苦手な受け身な若者たちが社会に出て苦労することが多いと聞きます。学力の上にさらに「協働」、つまり立場や価値観が異なる多様な人たちと一緒に何かをつくり上げていく力が求められる時代です。

そのために子どもたちに、伝える力、聴く力を身に付けさせていくこと大切だと考えます。学校では、相手を意識した伝え方や聴き方を指導しています。ご家庭でも「話せてよかった。ありがとう。」と笑顔で終われるような時間をつくってみませんか。



海田町 PTA 連合会の理事会がありました

日頃より海田東学校 PTA 活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

先日10月15日に海田町 PTA 連合会(町P連)の理事会が、各校の PTA 会長と校長等により開かれました。

町P連の行事などについて話し合われた後、それぞれの学校の PTA の状況についての意見交換が行われました。

各学校の PTA の在り方については、様々な考えがあり、各校や教育委員会等関係機関にもお問い合わせやご意見をいただいているところです。

これについては今後も町P連で、また、校長会等でも意見交換をしていきます。よろしくお願いいたします。

学校へ行こう週間 ～ぜひ、授業を見に来てください～

11月4日(火) 5日(水) 2校時(9:30～10:15)

3校時(10:40～11:25)

11月15日(土)

学習発表会

今年度は、11月4日(火)5日(水)は、ひろしま教育の日として授業を公開します。2・3校時のどちらの時間で、都合のいい時間にお子様の学習の様子を参観してください。(2時間参観も可能)教室内の人数が多くなりましたら、譲り合ってご参観ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。(詳しくは、別紙「学校へ行こう週間」案内をご覧ください)



全校朝会～有害鳥獣の危険～

9月30日(火)の全校朝会に、海田町有害鳥獣駆除班2名と海田町役場職員1名が来校され有害鳥獣(サル・イノシシ・シカ・クマ・マダニ)について紹介されました。また、対処方法についても教えていただきました。



スクールカウンセリング(SC)

11月10日(月) 13:40～16:15

12月8日(月) 9:55～12:20

予約制ですので、ご相談を希望される方は、学校までご連絡ください。

823-2270

担当 生徒指導主事 吉岡 康行



4年福祉体験授業



4年生は2学期に入り、総合的な学習の時間に海田町社会福祉協議会の協力をいただき、福祉体験授業を行っています。体験を通して、障害を持つ方の日常における困難さを感じたり、携わっておられる方の思いにふれたりすることができています。

※この取組は、地域の皆様から寄せられた赤い羽根共同募金の配分金で実施しています。

11月の予定

日	曜	行事
1	土	安芸郡小学生陸上記録会(東広島運動公園)
2	日	
3	月	文化の日
4	火	全校朝会、走り方教室(4年) 9:30～11:00、学校へ行こう週間(2・3校時)
5	水	学校へ行こう週間(2・3校時)
6	木	海田中学校体験入学(6年) SSW相談日 人権の花贈呈式(1年)
7	金	消防署見学(3年)
8	土	
9	日	
10	月	委員会 スクールカウンセラー相談日
11	火	児童朝会
12	水	
13	木	SSW相談日
14	金	5年2組研究授業⑤
15	土	学習発表会
16	日	ふれあいコンサート(織田スクエア) 13:00
17	月	振替休日
18	火	
19	水	巻きずし教室(5年2組)
20	木	巻きずし教室(5年1組) SSW相談日
21	金	巻きずし教室(5年3組)
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	体育朝会
26	水	
27	木	芸術鑑賞会(陸上自衛隊音楽隊) SSW相談日
28	金	
29	土	
30	日	

「全力で挑戦」 海田町小学校陸上記録会

10月1日（水）、絶好の秋晴れのもと町内4校の5・6年生が海田小学校に集まり、海田町小学校陸上記録会が行われました。保護者や地域の方にも応援していただき、選手は自己新記録を目指して自分の力を出し切りました。6年女子80mハードルに出場した中村麗実さんは、17年ぶりとなる大会新記録（14秒08）を出しました。

6年女子走り幅跳び

5位 前田 栞花
6位 大瀨 南

5年男子80mハードル

2位 林 航平
4位 村上 オタビオ
6位 木村 隼人

5年女子走り高跳び

3位 川原 星空
5位 菅原 柚華
5位 前田 純心香

5年女子80mハードル

2位 首藤 菜月
4位 城原 秋穂
5位 川崎 結月

6年女子走り高跳び

1位 迫 夏菜
4位 神門 千晶

6年女子80mハードル

1位 中村 麗実
(大会新)

6年男子走り高跳び

2位 副島 碧月
3位 花戸 蒼良

6年男子80mハードル

4位 大橋 孝輝

5年男子800m走

2位 佐藤 源太
3位 青木 晴建
6位 狩野 湊人

6年女子100m走

1位 中村 麗実

6年男子800m走

4位 剥田 結人

5年男子100m走

2位 佐藤 源太

5年女子100m走

4位 首藤 菜月
6位 田代 寿々禾

400mリレー

5年男子 2位 佐藤・木村・林・安部
5年女子 2位 田代・川崎・西谷・首藤
6年男子 2位 常松・副島・日向・花戸
6年女子 2位 中井・迫・大下・中村



標準記録を超えた人は、11月1日(土)の安芸郡小学生陸上記録会に出場します。

海田東小学校の取組

11月20日（木）～27日（木）に、海田町の公立小中学校の保護者を対象に「学校意識調査」が実施されます。参考にしてみてください。

	教育施策	具体例
1	学ぶ意欲を高める授業づくり	授業において児童が自ら課題を見つけ、友達と協働してその解決策を見つけ出し、表現する等の活動を通して、問題を解決する授業を行っています。また先生方は、研究授業を通して、授業力を高めています。 
2	学力向上に向けた取組	5・6年算数科において、教科担任制（担任以外の専門的な教員による授業）を実施しています。 
3	ICT機器を効果的に活用する授業づくり	一人一台のタブレット端末を使用し、コグトレやタブレットドリル等を行い、基礎学力をつけています。また、授業では問題を作成したり、友達との意見交流をしたりして授業に活用しています。 
4	グローバル人材育成事業の充実	ALT（外国語指導助手：マージョリー先生）が来校され、全学年を対象に児童のコミュニケーション力の向上をめざした外国語授業を行っています。
5	「心の元気」全町展開プロジェクト事業の充実	家庭・地域・学校が一体となって行う体験活動（あいさつ運動や植栽活動、清掃活動）を行っています。
6	幼保小連携の推進	幼稚園・保育園の子どもたちが、小学校への接続が円滑にできることをめざして、町内の小学校、幼稚園、保育所の教員が情報共有や連携を行っています。 
7	防災教育の推進	マイ・タイムライン（各家庭における非常時の防止計画の作成）や町役場による出前授業、避難訓練を通して自分の命を守る行動について繰り返し指導しています。 
8	競技力向上推進事業	国際学院高校陸上部による陸上教室を実施し、児童の競技力向上を図っています。今年度は、9月24日（水）と10月29日（水）に実施します。 
9	食育の推進	健全で健康な食生活を送ることができることをめざし、給食だより（もぐもぐ通信）の発行、朝ごはん川柳の募集、給食試食会、栄養教諭による授業を行っています。
10	読書活動の推進	児童の読書活動の向上をめざして、学校司書（向井先生）や図書委員会を中心として読書イベントや新刊コーナーの設置等を行っています。 
11	登下校時の安全確保の取組の充実	登下校の安全確保のため、登下校時の見守りとして交通安全ボランティアや保護者等と連携しています。また、メール配信システムを活用して不審者や安全等の情報提供を行っています。
12	特別支援教育の充実	個々の児童の特性に応じた教育活動を進めています。また通級指導教室が設置され担任と連携しながら個々の児童の課題克服に向けて取り組んでいます。
13	指定学校変更及び区域外修学に係る制度	教育的配慮が必要と判断される場合や指定学校に希望する部活動がないばあいなどに指定校区域外の学校に変更できる制度があります。
14	青少年サポート事業の充実	不登校の児童が学校に登校しやすいように、生徒指導主事を中心に相談体制を充実させています。また、スクールカウンセラー（月1回）やスクールソーシャルワーカー（毎週木曜日）が配置されています。